

北海道介護職員初任者研修（研修機関情報）

■法人情報

▶事業所名称／所在地／代表者

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール
所 在 地：北海道岩内郡岩内町字相生 1 9 4 番地
代表取締役：野澤 幸平

■研修機関情報

▶各施設名称／所在地

名称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール岩内校
所在地：北海道岩内郡岩内町字相生 1 9 4 番地

名称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール札幌校
所在地：北海道札幌市中央区大通西 1 6 丁目 1 - 1 3 けいほくビル 3 階

名称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール小樽校
所在地：北海道小樽市堺町 5 番 1 号 道通ビル 5 階

名称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール余市校
所在地：北海道余市郡余市町大川町 2 丁目 2 1 名店街ビル 2 階

名称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール倶知安校
所在地：北海道虻田郡倶知安町北 1 条西 2 丁目 8 番地 スズキビル 2 階

■理念

専門技術を習得し、かつ職場での人間関係を円滑にするために 必要なコミュニケーション能力および生産性の高い業務を遂行できる即戦力となる人材の育成を目的とした企業運営。

■目的

介護職員として従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育であり、特に介護を必要とする高齢者が安心してより良い自立生活ができるよう援助する質の高い介護員の養成が必要とされているため、介護員としての必要な知識、技術、精神を習得することを目的とする。

■学則

[添付 2 号様式のとおり](#)

■受講対象者

通信：14歳以上で心身ともに健康な方

通学：離職、転職者（求職中）の方対象

※講義・演習等、全ての過程を自分ひとりの力で受講・遂行することが可能な方であることが条件です。
妊娠している方は受講できません。

■研修期間

通信：最大2ヶ月

通学：最大2ヶ月

※各研修の修業年限は8ヶ月以内です。

■日程／時間数

日 程：詳細は随時ホームページにて記載

時間数：全130時間

■講師一覧

[添付3号様式のとおり](#)

■研修カリキュラム

教科名	時間数
職務の理解	6
介護における尊厳の保持・自立支援	9
介護の基本	6
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9
介護におけるコミュニケーション技術	6
老化の理解	6
認知証の理解	6
障害の理解	3
こころとからだのしくみと生活支援技術	75
振り返り	4
合 計	130

※研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは上記の研修カリキュラムのとおりです。

■受講手続

通信方式：募集時期開講日の1ヶ月前から募集し、7日前に締め切る

- ・当社指定の申込用紙に必要事項を記入のうえ郵送または持参により申し込む
- ・本人確認のため免許写しの提出、免許証がない場合は、住民票など申し込みと合わせて提出する
- ・申込内容を確認後、教材等を受講者宛に送付する

■教材／指導方法／課題

教材：介護職員初任者研修テキスト（日本医療企画）

指導体制：通信方式の面接指導は研修日程によるスクーリングにて行う。他、添削課題について受講者からの質問については、質問用紙にて受付し、回答期限は1回につき2週間を目安とする。通学方式については、面接指導にて行う。

■修了認定

(1) 出席の確認方法

通信方式：各教科の開始前に出欠確認を行い、各教科の終了後に講師より押印いただく。出欠は出席簿により管理する。

通学方式：各教科の終了後に講師より押印いただく。出欠は出席簿により管理する。

(2) 成績の評定

通信方式：全学科テスト（Ⅰ～Ⅲ）を下記のとおり成績評定表で管理し、合格点を70点以上とし、不合格（69点以下）の場合は合格点に達するまで、指導、再評価を行う。

通学方式：講義・実習については成績の評価は行わない。演習の一部（介護実技）については、合格点を70点以上とし、不合格の場合は合格点に達するまで、再試験を行うものとする。

(3) 補講の取り扱い

やむを得ないと認められる事情により受講生が欠席した場合、当該教科につき可能な限り補講を実施する。

通信方式：①他コースによる振替え補講
②個別対応による補講

通学方式：①個別対応による補講

(4) 修了の確認方法

修了試験（Ⅰ～Ⅲ）を修了課題評定表で管理し、合格点を70点以上とし、不合格の者は、再提出、再評価に合格しなければならない。面接指導・演習について研修教科のすべてに出席しなければならない。但し、欠席した教科については補講をもって出席とみなす。演習の一部（介護実技）については、講師の評価を受け70点以上を合格とする。不合格の場合は合格点に達するまで指導、評価を行う。

■修了証書等の交付

修了が認定された者には、[修了証明書（別紙5）](#)を交付する

■修了者管理の方法

修了者を北海道知事に報告するとともに、修了者名簿で永年管理する。

■実習について

施設実習を行う場合は実習施設一覧のとおり

■退学規定

- ①受講生が退学しようとする時は所定の退学届を提出すること。
- ②次の行為のあった場合には、当学校より退学を命ずる場合がある。
 - ・ 勉学態度不良等で改善の見込みがないと認められるとき
 - ・ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき
 - ・ 正当な理由がなくして出席が常でない者
 - ・ 研修の秩序を乱している者

■実績情報

過去研修実施回数	平成28年4月～平成30年3月	：	4回
過去研修延べ参加人数	平成27年4月～平成28年3月	：	52名

■連絡先（苦情対応）

対応者：野澤宏貢

連絡先：0135-22-7321

学 則

1 研修の目的

介護職員として従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育であり、特に介護を必要とする高齢者が安心してより良い自立生活ができるよう援助する質の高い介護員の養成が必要とされているため、介護員としての必要な知識、技術、精神を習得することを目的とする。

2 研修の名称

北海道介護職員初任者研修

3 研修の要旨

研修課程	事業所所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者
介護職員初任者研修	岩内町 札幌市 小樽市 余市町 倶知安町	通信	8ヶ月	2ヶ月	20名	108,000	一般
	小樽市 余市町 倶知安町	通学	8ヶ月	2ヶ月	20名	7,560円 (自己負担金)	職業訓練対象者

4 受講手続

- (1) 募集時期 通信: 募集時期開講日の1ヶ月前から募集し、7日前に締め切る。
- (2) 受講料納入方法 指定の期日までに金融機関に振込むか現金を持参すること。なお、研修の開始までに受講料が入金されないときは、受講を断る場合がある。
- (3) 受講料返還方法 受講前については、当社の都合により研修を中止した場合に限り、受講料を返還する。研修開始後は、理由の如何を問わず、受講料は一切返還しない。
返還方法は、受講者希望の銀行口座へ振込または現金にて返還。

5 カリキュラム

教科名	時間数
職務の理解	6
介護における尊厳の保持・自立支援	9
介護の基本	6
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9
介護におけるコミュニケーション技術	6
老化の理解	6
認知証の理解	6
障害の理解	3
こころとからだのしくみと生活支援技術	75
振り返り	4
合計	130

6 主要テキスト

北海道介護職員初任者研修テキスト

株式会社 日本医療企画

7 修了認定

(1) 出席確認

- ・通信方式
 - ・通学方式
- 各教科の開始前に出欠確認を行い、出欠は(別紙1)に講師より押印いただき管理する。

(2) 成績の評定方法

- (ア)通信方式
全学科テスト(I～Ⅲ)の添削問題を成績評定表(別紙2)で管理し、合格点を70点以上とし、不合格(69点以下)の場合は合格点に達するまで、指導、再評価を行う。
- (イ)通学方式
講義・実習については成績の評価は行わない。
演習の一部(介護実技)については、(別紙4)により管理し合格点を70点以上とし、不合格の場合は合格点に達するまで、再試験を行うものとする。

(3) 修了の確認方法

- 修了試験(I～Ⅲ)を修了課題評定表(別紙3)で管理し、合格点を70点以上とし、不合格の者は、再提出、再評価に合格しなければならない。
面接指導・演習について研修教科のすべてに出席しなければならない。
但し、欠席した教科については補講をもって出席とみなす。
演習の一部(介護実技)については評価シート(別紙4)にて講師の評価を受け70点以上を合格とする。
不合格の場合は合格点に達するまで指導、評価を行う。

(4) 修了証明書

- 修了が認定された者には、修了証明書(別紙5)を交付する

8 補講の取扱い

やむを得ないと認められる事情により受講生が欠席した場合、当該教科につき可能な限り補講を実施する。

(ア)通信方式

- ①他コースによる振り替え補講
- ②個別対応による補講

(イ)通学方式

- ①個別対応による補講

9 退学規定

- ① 受講生が退学しようとするときは、所定の退学届(別紙6)を提出すること。
- ② 次の行為のあった場合には、当学校より退学を命ずる場合がある。
 - ア 勉学態度不良等で改善の見込みがないと認められるとき
 - イ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき
 - ウ 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - エ 研修の秩序を乱している者

10 講師

添付3号様式(講師一覧)および添付4号様式(講師調書)のとおり

11 実習施設

施設実習を行う場合は添付5号様式(実習施設一覧)のとおり

実習施設一覧

施設名	郵便番号	住所	電話番号	設置者名	実習担当者
グループホーム なかじま	046-0004	北海道余市郡余市町 大川町4丁目23番地12	0135-30-7200	医療法人社団 滋垣会	佐藤 奈緒子
グループホーム仁木 やすらぎの里	048-2405	北海道余市郡仁木町 北町8丁目40-5	0135-32-3586	社会福祉法人 仁木福祉会	宇生 哲子
養護老人ホーム かるな和順	046-0022	北海道余市郡余市町 沢町5丁目77番地	0135-22-2408	社会福祉法人 徳風会	黒田 由紀子
グループホーム絆 一きずな一	044-0003	北海道虻田郡倶知安町 南3条西1丁目	0136-55-5000	社会福祉法人 黒松内つくし園	細貝 誉子
グループホーム縁 一ゆかり一	044-0003	北海道虻田郡倶知安町 南3条西1丁目	0136-55-5000	社会福祉法人 黒松内つくし園	竹田 公彦
養護老人ホーム 慶和園	044-0132	北海道虻田郡京極町 更進780番地1	0136-42-2201	社会福祉法人 黒松内つくし園	藤波 みゆき
特別養護老人ホーム ユニットケア慶和園	044-0132	北海道虻田郡京極町 更進780番地1	0136-42-2201	社会福祉法人 黒松内つくし園	藤波 みゆき
介護老人福祉施設きもべつ 喜らめきの郷	044-0221	北海道虻田郡喜茂別町字 伏見272番地の1	0136-33-2711	社会福祉法人 溪仁会	千葉 拓磨
グループホーム アイケアおたる	047-0017	北海道小樽市若松2丁目 1-18	0134-21-3222	株式会社アイケア	佐々木 一希
グループホーム 竹とんぼ	047-0036	北海道小樽市長橋5丁目 14番8号	0134-21-4500	有限会社優春	真光 かおり
グループホーム ふきのとう	047-0156	北海道小樽市桜1丁目 27番53号	0134-54-7360	株式会社尚進 (なおしん)	高木 美幸
グループホーム ふきのとう(東館)					植村 美恵子
グループホーム そよかぜ岩内	045-0023	北海道岩内郡岩内町栄 2番地10	0135-62-1234	有限会社 老古美興産	石田 美由紀
グループホーム夢	047-0036	北海道小樽市長橋2丁目2 番13号	0134-25-0238	有限会社イマージュ	渡部 佐緒里
グループホーム 夢あかり					重島 三栄子
蘭島小規模多機能ホーム さくら	048-2562	北海道小樽市蘭島1丁目16	0134-64-3088	有限会社 さくらケアセンター	奥野 寿美子
デイサービスセンター かるな	046-0022	北海道余市郡余市町 町沢町5丁目77番地	0135-22-2408	社会福祉法人 徳風会	村角 友美
小樽デイサービス	047-0036	北海道小樽市長橋4丁目 5番23号	0134-25-5720	株式会社北海道勤労者 在宅医療福祉協会	竹内 一之
小規模多機能ホーム つみき	047-0036	北海道小樽市長橋5丁目 14番7号	0134-32-5676	有限会社優春	相馬 美奈子
デイサービスセンター あすなる	047-0037	北海道小樽市花園2丁目5番 2号7ロックビル3階	0134-21-3500	ハピレ株式会社	押野 雅佳
さくらケアセンター 訪問介護事業所	046-0004	北海道余市郡余市町大川町 17丁目15番地	0135-22-7098	有限会社 さくらケアセンター	奥野 潤
訪問介護事業所 わじゅん	046-0022	北海道余市郡余市町 町沢町5丁目77番地	0135-22-2408	社会福祉法人 徳風会	木村 恵美子
小樽ヘルパーステーション 潮かぜ	047-0036	北海道小樽市長橋4丁目 5番23号	0134-25-5761	株式会社北海道勤労者 在宅医療福祉協会	津崎 裕子
倶知安訪問・居宅介護 ステーションつくしんぼ	044-0003	北海道虻田郡倶知安町南 3条西1丁目	0136-55-5000	社会福祉法人 黒松内つくし園	三浦 理奈
ケアステーションひだまり	048-2405	北海道余市郡仁木町北町 6丁目37番地23	0135-31-2060	有限会社ムゲン	中谷 久美子
株)在宅介護サービスサブ チャン	046-0003	北海道余市郡余市町黒川町 3丁目106番地	0135-23-3181	株式会社在宅介護サービ スサブチャン	清水 鏡子
有料老人ホーム 花ごよみ	002-8066	北海道札幌市北区拓北 6条1丁目5-15	011-775-8753	株式会社ふとみ 総合施設	浜井 麗子
有料老人ホーム 公楽苑					
グループホーム 公楽苑ほほえみ					
グループホーム のどか	002-8065	札幌市北区拓北5条 3丁目10-26	011-775-6290	有限会社のどか	安藤 裕啓

修了証明書

第 号

修了証明書

氏 名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）
第三条第一項第二号に掲げる研修の課程を修了した
ことを証明する。

年 月 日

有限会社 野澤企画
代表取締役 野澤 幸平 印

第 号

修了証明書（携帯用）

氏 名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）
第三条第一項第二号に掲げる研修の課程を修了した
ことを証明する。

年 月 日

有限会社 野澤企画
代表取締役 野澤 幸平 印

調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
1	奥山 晴宜	<ul style="list-style-type: none"> ●職務の理解 <ul style="list-style-type: none"> ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 ●介護における尊厳の保持・自立支援 <ul style="list-style-type: none"> ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 ●介護の基本 <ul style="list-style-type: none"> ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 ●介護・福祉サービスの理解と医療との連携 <ul style="list-style-type: none"> ①介護保険制度 ③障害者総合支援制度およびその他制度 ●介護におけるコミュニケーション技術 <ul style="list-style-type: none"> ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション ●老化の理解 <ul style="list-style-type: none"> ①老化に伴うところとからだの変化と日常 ●認知証の理解 <ul style="list-style-type: none"> ①認知証を取り巻く状況 ③認知証に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 ●障害の理解 <ul style="list-style-type: none"> ③家族の心理、かかわり支援の理解 ●ところとからだのしくみと生活支援技術 <ul style="list-style-type: none"> ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習 ●振り返り <ul style="list-style-type: none"> ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修 	介護福祉士	兼任	
2	山岸 育美		介護福祉士	兼任	添削
3	館内 泰子		介護福祉士	兼任	
4	相馬 美奈子		介護福祉士 介護支援専門員	兼任	添削
5	小林 清子		介護福祉士	兼任	添削
6	高橋 佐裕里		ホームヘルパ [®] -1級	兼任	添削
7	中村 都		ホームヘルパ [®] -2級	兼任	添削
8	松下 恵美子		介護福祉士	兼任	添削
9	牧野 和恵		介護福祉士	兼任	添削
10	伊藤 美穂子		介護福祉士	専任	添削
11	中村 咲子		介護福祉士	兼任	添削
15	奥野 潤		ホームヘルパ [®] -2級	兼任	添削
17	田中 照代		介護福祉士	兼任	添削
18	松田 正良		介護福祉士	兼任	添削
19	保角 滝代		介護福祉士	兼任	添削
20	谷村 和美		介護福祉士 介護支援専門員	兼任	添削
22	佐藤 京子		介護福祉士	兼任	添削
23	中村 紀子		介護福祉士 介護支援専門員	専任	添削
25	千葉拓磨		介護福祉士	兼任	
26	稲田光恵		介護福祉士 介護支援専門員	兼任	
28	山口恵子		介護福祉士	兼任	添削
29	清水利英子		介護福祉士	兼任	添削
30	杉田由加利		初任者研修	兼任	添削
32	岡内健		介護福祉士	兼任	添削
33	山本勇		介護福祉士 介護支援専門員	兼任	添削

調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
13	平山 すみ子		看護師	兼任	添削
14	西原 陽子	●職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	准看護師	兼任	添削
16	河野 恭子		看護師	兼任	添削
27	加納由樹	●介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	看護師	兼任	添削
31	佐々木暁子	●介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理	看護師	兼任	添削
39	菅籐のりこ	③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	看護師	兼任	添削
		●介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害者総合支援制度およびその他制度			
		●介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション			
		●老化の理解 ①老化に伴うところとからだの変化と日常 ②高齢者と健康			
		●認知証の理解 ①認知証を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知証の基礎と健康管理 ③認知証に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援			
		●障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解			
		●ところとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習			
		●振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修			

